

ビッグデータ同化： ゲリラ豪雨予測から予測科学へ

参加無料

8月21日(水)

15:00~16:30

講師：
三好 建正 氏

理化学研究所 開拓研究本部主任研究員、同数理創造プログラム副プログラムディレクター、科学技術振興機構プログラムディレクター、京都大学大学院理学研究科客員教授、メリーランド大学大気海洋科学部客員教授、海洋研究開発機構アプリケーションラボ招聘上席研究員

**Zoom
開催**

お申込みは
こちらから



データ同化は、シミュレーションと現実世界をシンクロし、予測や制御を行う要である。天気予報で高度に発展してきたが、近年デジタルツインを実現する方法として様々な分野に応用が広がっている。理化学研究所では、スーパーコンピュータ「京」や「富岳」、フェーズドアレイ気象レーダや衛星データなどの新世代技術を組み合わせ、ゲリラ豪雨や、台風、集中豪雨の予測革新を切り拓いてきた。2021年東京オリンピック・パラリンピックの際には、スーパーコンピュータ「富岳」の威力を生かした「ビッグデータ同化」により、30秒ごとに更新する世界随一のゲリラ豪雨予測のリアルタイム実証実験に成功した。また予測と制御は密接に関係しており、データ同化は最適制御の方法に基づく。予測可能性研究が進み、天気予報の精度が向上してきたことを背景に、内閣府が主導するムーンショット目標8では講演者が旗振り役となって気象制御に向けた取り組みも始まっている。さらに今後、気象予測を超え、様々な分野の予測制御困難に立ち向かう「予測科学」というべき新たな展望が見えてきた。

- 主催/共催： IEEE 東京支部 LMAG (Life Members Affinity Group)
IEEE 東京支部 TPC (Technical Program Committee)
- 協賛： 電子情報通信学会東京支部